

# EP モルライト

## ○用途

- ・コンクリート・モルタルの欠損部補修
- ・コンクリートのジャンカ充填補修
- ・不陸調整、コーナー形成など



## ○特徴

### ●速硬化

硬化が速く次工程までの時間を短縮できます。

### ●軽量

比重が 0.8 と軽量で壁面、天井面でもずり落ちず施工ができます。(20mm 厚)

### ●耐久性

凍結融解など長期耐久性に優れます。

## ○性状

EP モルライト		
	主剤(A 剤)	硬化剤(B 剤)
外観	灰白色パテ状	濃灰色パテ状
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
容量	10kg(12L)	
密度(g/cm <sup>3</sup> )	0.80±0.05	
混合比(見た目)	1:1	
混合比(重量)	1:1	
可使時間	30 分(200g、35℃)	
	60 分(200g、23℃)	
	90 分(200g、5℃)	
硬化時間	4 時間(35℃)	
	4 時間(23℃)	
	16 時間(5℃)	

EP モルライトプライマー		
	主剤(A 剤)	硬化剤(B 剤)
外観	無色～淡黄色	褐色透明
	透明粘稠液	粘稠液
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
混合比(見た目)	1:1	
混合比(重量)	1:0.84	
可使時間	60 分(100ml、23℃)	
張付可能時間	4 時間(23℃)	

## ○技術データ

- ・建築改修工事監理指針(平成 25 年度版)に基づく試験(国土交通省官房官庁営繕部監修)

試験項目	試験結果	品質基準(案)	判定
外観	均等で異物の混入は見られない。	均一で異物の混入のないこと。	合格
曲げ強さ	13.4N/mm <sup>2</sup>	9.8N/mm <sup>2</sup> 以上。	合格
圧縮強さ	23.7N/mm <sup>2</sup>	—	—
接着強さ	4.27N/mm <sup>2</sup>	破壊はコンクリートで起こり、又は 0.98N/mm <sup>2</sup> 以上。	合格
比重	0.77	—	—
だれ試験	形状に異常は見られない。だれ長さ 0mm	形状に異常がなく、だれが生じないこと。	合格

- ・フレックスマルチ(弾性接着剤)との付着性

試験項目	試験結果
接着強さ	0.91N/mm <sup>2</sup> (100)

養生条件:EPモルライト(厚み 10mm)23±2℃で環境下で 24 時間養生した後、フレックスマルチを用いて磁器質タイルを張り付け。40℃環境下で 168 時間養生後、万能引張試験機により試験速度 3mm/min で測定。試験結果括弧内の数値は弾性接着剤の凝集破壊率。

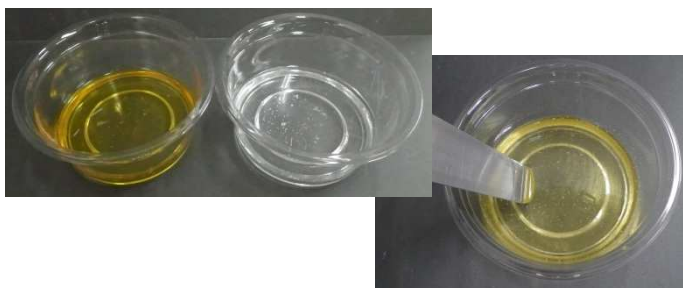
# EP モルライト使用方法

## ① 下地の処理・清掃



下地の脆弱部分を除去し、健全な部分を露出させ、清掃をします。下地が濡れている場合は乾燥させます。

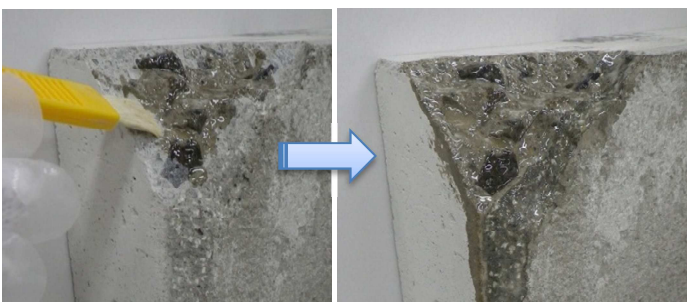
## ② プライマーの調整



EP モルライトプライマーを 1:1 (見た目) で容器へ取り出し、均一になるまでよく攪拌・混合します。

○可使時間：60 分 (100ml、23℃)

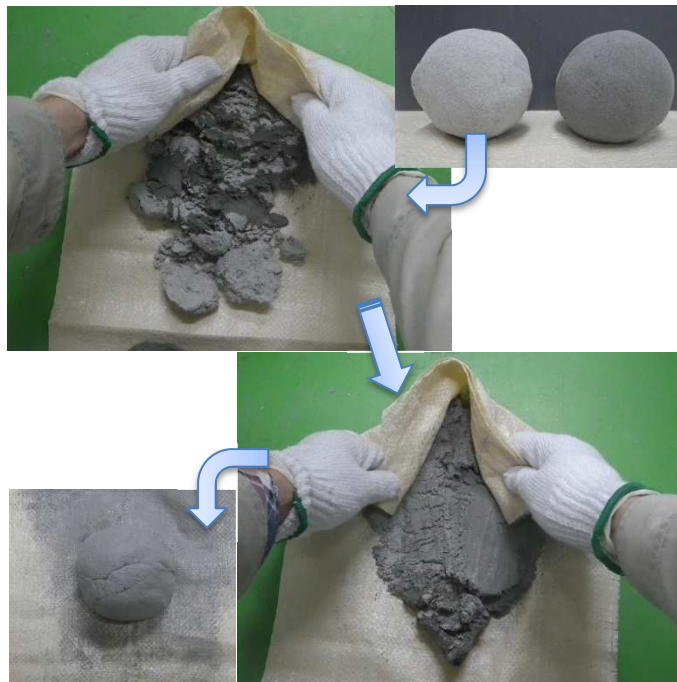
## ③ プライマーの塗布



EP モルライトプライマーを下地が濡れ色になるように充分塗布します。

○張付可能時間：4 時間 (23℃)

## ④ EP モルライトの調整



EP モルライトを 1:1 (見た目、おもさ) となるように容器などに取り出し、色が均一になるまで攪拌・混合します。

○可使時間:60 分 (200g、23℃)

## ⑤ EP モルライト充填・仕上げ



プライマーの張付け可能時間内に EP モルライトを充填し、仕上げます。

○硬化時間:4 時間 (23℃)